

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第2週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は2,493人(定点あたり55.6)で、前週比119%と増加した。

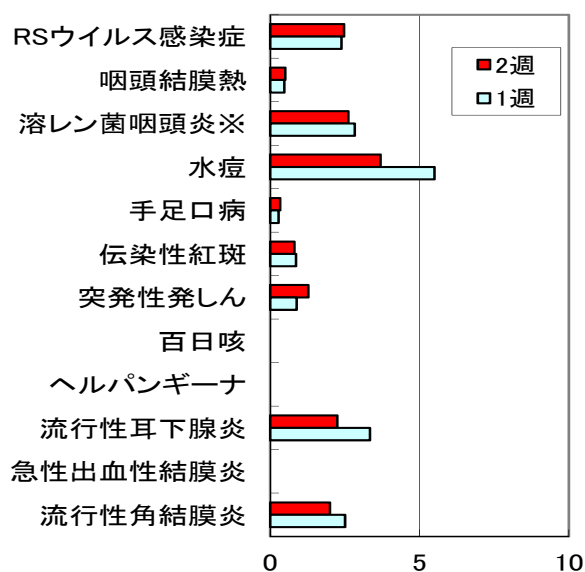
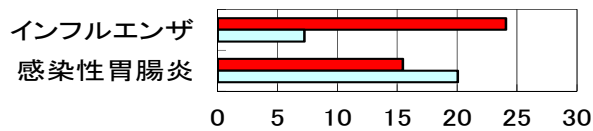
前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は水痘と感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は1,421人(24.1)で前週比332%と増加した。延岡(45.3)、都城(36.9)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では5歳以下が全体の28%、6-9歳が23%、10-14歳が20%、15-19歳が5%、20歳代-50歳代が22%、60歳以上が2%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は557人(15.5)で前週比77%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値(14.6)の約1.1倍であった。小林(29.7)、日南(27.3)、中央(21.0)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では1歳から3歳で全体の約4割を占めた。

マイコプラズマ肺炎1人が延岡保健所から報告された。40歳代の女性で原因菌は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

《前週との比較》



定点あたり報告数
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 感染性胃腸炎の集団発生(平成23年1月10日~平成23年1月16日)

保健所名	施設の種別	件数
日向	老人福祉関係施設	1
延岡	障害者施設	1

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報	定点あたり報告数		年 齢 分 布
	開始基準値	宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
インフルエンザ	30	24.1	延岡(45.3)、都城(36.9)	5歳以下が全体の28%、6歳～9歳が23%、10歳～14歳が20%、15歳～19歳が5%、20歳代～50歳代が22%、60歳以上が2%を占めた。
感染性胃腸炎	20	15.5	小林(29.7)、日南(27.3)、中央(21.0)	1歳～3歳で全体の約4割を占めた。
水痘	7	3.7	高鍋(7.8)	1歳～4歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	0.81	高千穂(2.0)	3歳～6歳で全体の約7割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.3	日南(9.7)	1歳から4歳で全体の約6割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 4 例が宮崎市 (2 例)、小林・高鍋 (1 例) 保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・80 歳代の男性で肺結核。
 ・80 歳代の男性で肺結核及びその他の結核 (結核性胸膜炎)。発熱がみられた。
 《小林保健所》・80 歳代の男性で肺結核。咳、痰、発熱、呼吸困難がみられた。
 《高鍋保健所》・80 歳代の男性で肺結核。咳、痰、発熱、呼吸困難がみられた。
- 3～5 類感染症 : 報告なし。

■ 全国第 1 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 22.2 で、前週比 121%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザ、水痘、流行性耳下腺炎で、減少した疾患は手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 24,841 人 (5.1) で、前週比 220%と増加した。沖縄県 (25.9)、福岡県 (11.5)、佐賀県 (11.4) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 22%、6-9 歳が 11%、10-14 歳が 8%、15-19 歳が 7%、20 歳代から 50 歳代が 49%、60 歳以上が 3%を占めた。

水痘の報告数は 9,287 人 (3.0) で、前週比 144%と増加した。大分県 (7.8)、福井県・宮崎県 (各 5.5) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約 8 割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告総数は 4,306 人 (1.4) で、前週比 146%と増加した。長野県 (5.0)、香川県 (4.3)、新潟県 (3.6) からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 226 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 10 例、パラチフス 1 例
- 4 類感染症 : A 型肝炎 2 例、エキノコックス症 1 例、コクシジオイデス症 1 例、つつが虫病 11 例、デング熱 1 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 7 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 4 例、ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 3 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、後天性免疫不全症候群 7 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 4 例、破傷風 1 例、風しん 1 例、麻しん 6 例

■月報告対象疾患の発生動向 <12月>

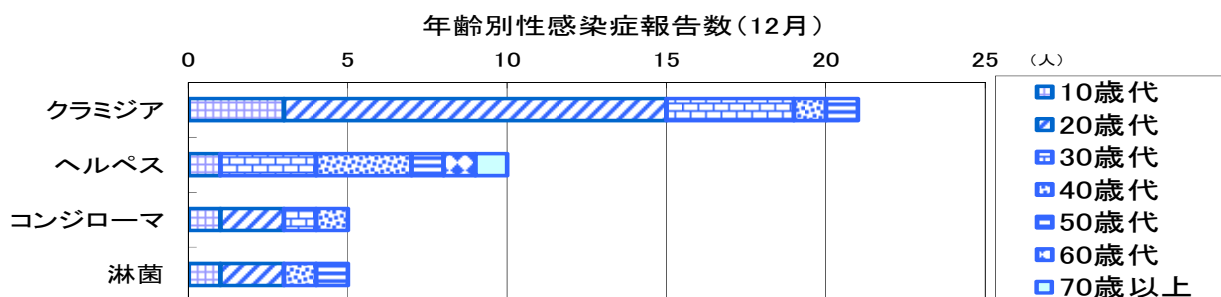
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は41人（3.2）で、前月比89%と減少した。昨年12月（3.9）の約8割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数21人（1.6）で、前月の約8割、前年の約6割であった。宮崎市（2.5）、都城・日向（2.0）保健所からの報告が多く、男性10人、女性11人で、20歳代が全体の約6割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人（0.77）で、前月の約1.1倍、前年の約2倍であった。男性3人、女性7人で、30歳代と40歳代が全体の約6割を占めた。
- 尖圭コンジローマ：報告数5人（0.38）で、前月の約1.3倍、前年の約1.7倍であった。男性4人、女性1人で、20歳代が2人、10歳代・30歳代・40歳代が各1人であった。
- 淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月と同数、前年の約6割であった。すべて男性で、20歳代が2人、10歳代、40歳代、50歳代が各1人であった。



【全国】 定点医療機関総数：967

定点医療機関からの報告総数は3,812人（4.0）で、前月比95%であった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,930人（2.0）で前月比91%、性器ヘルペスウイルス感染症704人（0.73）で前月比103%、尖圭コンジローマ373人（0.39）で前月比89%、淋菌感染症805人（0.83）で前月比103%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は25人（3.6）で前月比60%と減少した。また昨年12月（6.7）の約半数であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人（2.7）で、前月の約6割、前年の約7割であった。延岡（7.0）、宮崎市・高鍋（各5.0）保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数5人（0.71）で、前月の約6割、前年の約3割であった。宮崎市・高鍋（2.0）保健所からの報告が多く、10歳未満で全体の約6割を占めた。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数1人（0.14）で宮崎市保健所からの報告であった。患者は70歳以上の女性であった。

【全国】 定点医療機関総数：468

定点医療機関からの報告総数は2,377人（5.1）で、前月比98%であった。疾患別報告数はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,777人（3.8）で前月比94%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症555人（1.2）で前月比118%、薬剤耐性緑膿菌感染症45人（0.10）で前月比91%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第02週(01月10日～01月16日)

疾病名		第1週	第2週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	428	1421	282	369	317	147	119	99	17	49	22
	定点あたり	7.25	24.08	17.63	36.90	45.29	29.40	23.80	16.50	8.50	8.17	11.00
RSウイルス 感染症	報告数	86	89	18	16	8	12		16	2	15	2
	定点あたり	2.39	2.47	1.80	2.67	2.00	4.00	0.00	4.00	2.00	3.75	2.00
咽頭結膜熱	報告数	17	18	1	4	3	3	2	2	1	1	1
	定点あたり	0.47	0.50	0.10	0.67	0.75	1.00	0.67	0.50	1.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	102	94	21	6	27	10	1	17		10	2
	定点あたり	2.83	2.61	2.10	1.00	6.75	3.33	0.33	4.25	0.00	2.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	722	557	144	86	24	82	89	38	6	67	21
	定点あたり	20.06	15.47	14.40	14.33	6.00	27.33	29.67	9.50	6.00	16.75	21.00
水痘	報告数	198	133	36	39	5	14	1	31	1	3	3
	定点あたり	5.50	3.69	3.60	6.50	1.25	4.67	0.33	7.75	1.00	0.75	3.00
手足口病	報告数	10	12	11	1							
	定点あたり	0.28	0.33	1.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	31	29	16	3		1	1	6	2		
	定点あたり	0.86	0.81	1.60	0.50	0.00	0.33	0.33	1.50	2.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	32	46	13	12	8	1	2	4		6	
	定点あたり	0.89	1.28	1.30	2.00	2.00	0.33	0.67	1.00	0.00	1.50	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	120	81	26	10	11	29	1	1	1	1	1
	定点あたり	3.33	2.25	2.60	1.67	2.75	9.67	0.33	0.25	1.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	12	10	1	1						
	定点あたり	2.50	2.00	3.33	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第2週)

2類感染症	結核	6例(4)
4類感染症	つつが虫病	1例(1)

()内は今週届出分、再掲